

「ルミパルス SARS-CoV-2 Ag」を用いた抗原定量検査について

1. 検査対象者

無症状の方を対象とした自費検査希望者 ※各市町村が実施する補助制度に対応

2. PCR検査との違い

検査種類	抗原定性検査	ルミパルス 抗原定量検査	PCR検査
調べるもの	ウイルスを特徴づけるたんぱく質（抗原）	ウイルスを特徴づけるたんぱく質（抗原）	ウイルスを特徴づける遺伝子配列
精度	検出には、一定量以上のウイルス量が必要	PCR検査と同等で少量のウイルス量でも検出できる	より高い感度で少量のウイルス量でも検出できる

3. 予約方法

完全予約制ですので、TEL 0265-24-1505 に事前に必ず予約をしてください。

※予約もなく直接実施場所にお越し頂いても実施できません。

4. 実施可能日

月曜日から金曜日の 11 時から 13 時まで

5. 実施方法

※口腔内の異物等が検査に影響することがありますので、受診の 30 分程度前に口をゆすいでください。

①受診日に実施場所に自家用車でお越し頂く

弊所ホームページ参照

https://www.chubukosyu.or.jp/wp-content/uploads/2020/12/rdt-map_HP.pdf

※受診者は終始車内にいる形のドライブスルー方式としています。

②テント横の受付位置まで進み、車内にいるままで窓を開けて受付を実施

- ・本人確認（運転免許証又は保険証）
- ・予約時から当日までの健康状態の確認
- ・体温測定
- ・検査料金のお支払

スタッフが入金用の袋をお渡し致しますので、そちらにお入れください。
おつりのいらぬようにご準備ください。

・唾液採取容器の受取

お渡し時に採取方法をご説明致しますが、唾液を 2～3ml 採取となります。

③車を駐車スペースに移動頂き、車内でご自分で採取して頂きます。

④採取ができましたら、テント横の検体受け渡し位置まで車で進んで頂き、スタッフへ検体をお渡しください。

6. 結果報告

結果書は検査当日窓口にてお渡し可能です。受け渡し時間は予約時に確認させていただきます。

ご郵送も承ります。

結果が陽性の場合は保健所から直接連絡が行きます。

ご不明な点につきましては、下記担当までお問い合わせください。

(一財) 中部公衆医学研究所 健康管理部 企画渉外課 Tel 0265-24-1505

編集
後記

昨年からの生活を一変させた新型コロナウイルスが今年になっても猛威を振るっています。単純なことですが「3密」を防ぎ、手洗い・うがい・マスク着用で感染確率が減少します。今は大変ですが、マスクなしで早く生活できるよう、皆様の幸せを祈念いたします。（機関紙発行委員会）

中部公衆だより
第25号

発行

一般財団法人 中部公衆医学研究所 〒395-0051 長野県飯田市高羽町6丁目2-2
電話(0265)24-1777(代表) FAX(0265)24-2330 <http://www.chubukosyu.or.jp>
健康づくり部 企画情報課:(0265)24-1505 健康相談課:(0265)24-1507 環境衛生部:(0265)24-1509

健康を大切に。環境を大切に。

中部公衆だより

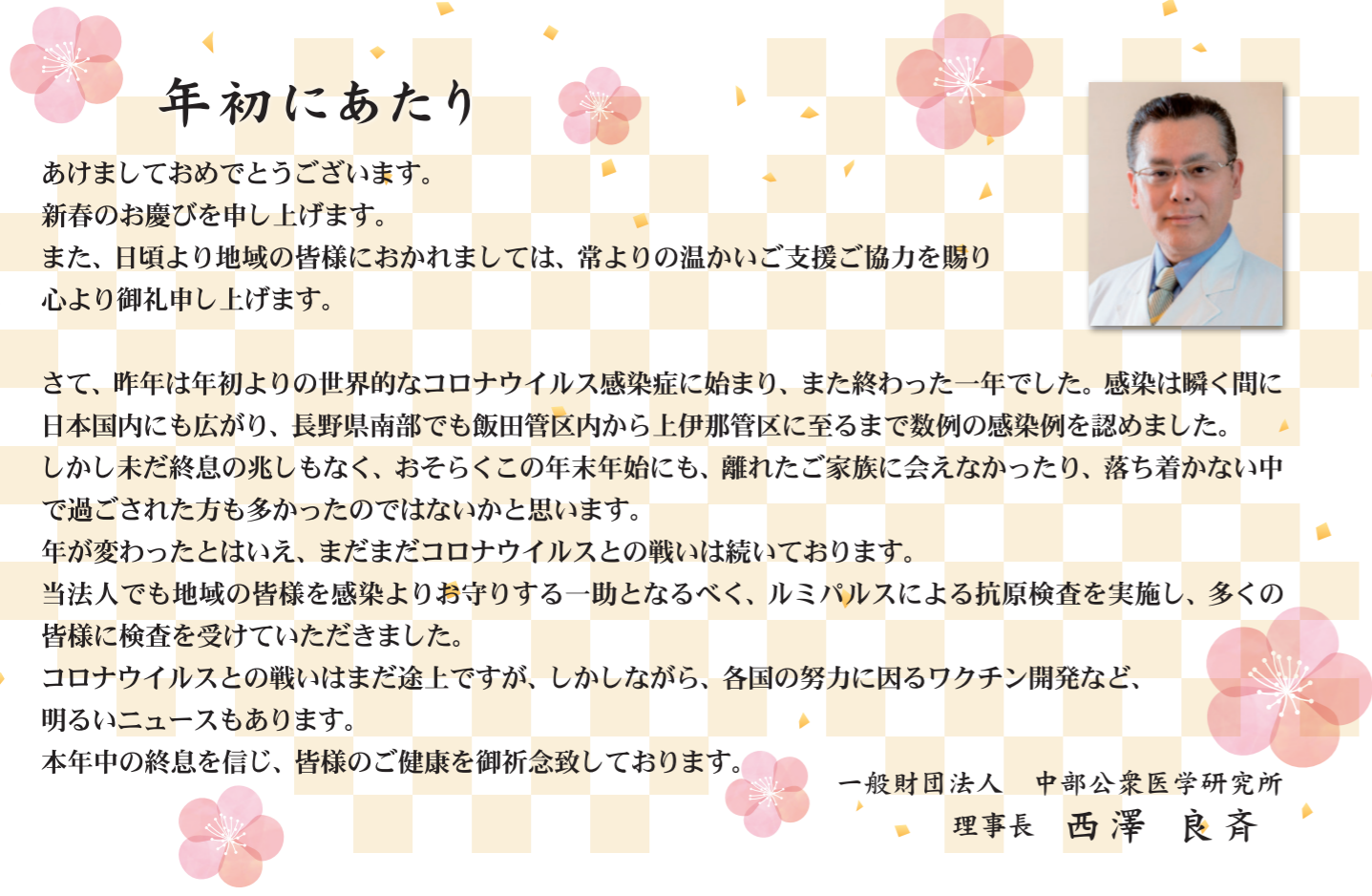
No.
25
2021.1



Photo: 喬木村 いちご狩り



一般財団法人
中部公衆医学研究所



年初にあたり

あけましておめでとうございます。

新春のお慶びを申し上げます。

また、日頃より地域の皆様におかれましては、常よりの温かいご支援ご協力を賜り心より御礼申し上げます。



さて、昨年は年初よりの世界的なコロナウイルス感染症に始まり、また終わった一年でした。感染は瞬く間に日本国内にも広がり、長野県南部でも飯田管内から上伊那管区に至るまで数例の感染例を認めました。

しかし未だ終息の兆しもなく、おそらくこの年末年始にも、離れたご家族に会えなかったり、落ち着かない中で過ごされた方も多かったのではないかと思います。

年が変わったとはいえ、まだまだコロナウイルスとの戦いは続いております。

当法人でも地域の皆様を感染よりお守りする一助となるべく、ルミパルスによる抗原検査を実施し、多くの皆様に検査を受けていただきました。

コロナウイルスとの戦いはまだ途上ですが、しかしながら、各国の努力に因るワクチン開発など、明るいニュースもあります。

本年中の終息を信じ、皆様のご健康を御祈念致しております。

一般財団法人 中部公衆医学研究所
理事長 西澤 良斉

健康診断データ収集システムが”スマートジェイワン”という新しいシステムにかわりました。

- ① 健診業務のデータ収集業務の効率化を実現
OCRに記入するイメージをタブレットで実現。
健診現場の流れを変えることなく、オンラインで入力するため、新たな作業は必要なし。
- ② iPadを利用してOCR運用そのまま入力、健診機器とも連携が可
受診者の進捗状況がリアルタイムで確認でき、検査漏れを防止。
入力データは前回健診結果とリアルタイムに比較することで、入力ミスを削減。
- ③ クラウド利用で個人情報の持ち出し不要
健診データはデータセンターで管理。
端末に個人情報が残らない仕組みを採用し、セキュリティリスクを軽減。
- ④ 処理時間削減で結果出力までを短縮に
帰所後のデータ取込み作業やデータチェックの時間を大幅に削減。

- 検査結果登録
- 検査結果の1次チェック

- 検査結果の2次チェック
- システム取込み



嵐の日も日照りの日も草は根を伸ばす

新型コロナウイルス感染症の蔓延で、世の人たちは外出を控え、持病のある人はかかりつけ医のもとへ行くのも控える昨今です。働いている人たちの中にも、年に一度の健診を控えてしまおうという風潮があります。新型コロナウイルス感染患者の治療に当たる医師・看護師らの奮闘が称えられていますが、受診控えて閑古鳥の鳴く診療所では、受付担当者や看護師さんらが仕事を失いつつあります。



長野県飯田保健所長
松岡 裕之

不要不急の外出は控えましょうとはいいますが、健診を受けることは不要不急な事柄なのでしょうか。年に1回くらいは自分の健康状態を見つめなおし、生活を改善するよう心がける機会を持つことは必要なことであると私は思います。実は私の先輩にも、ある年に健診を受けるのを怠け、そのため大腸がんの発見が1年遅れてしまい、あの世に先立って逝ってしまった人がいます。

新型コロナウイルスに関して、少しずつですが分かってきたこともあるので、その一部を紹介します。ウイルスをたくさん持っている人と同じ部屋にいて、あるいは同じ車に同乗しても、皆がみな感染するものでもないのです。一定の距離を取り、長時間空間を共有せず、換気をし、お互いにマスクをする、などにより感染の度合いはグンと減少します。人の集まる健診会場でも、きちんと防御態勢を取り、大声をあげず、むやみにその辺に手を触れず、そして健診後はしっかり石鹸で手を洗えば、あなたは新型コロナウイルスの感染を受けることはないのです。

さてもう一つ分かったこと。100人の人がこのウイルスに感染したとしましょう。人工呼吸器が必要な重い症状に至る人も出ます(5人)が、酸素を吸えば大丈夫でそのうち治る人(20人)、軽い症状の人(60人)、全然症状の出ない人(15人)などとなります。一方、体内で多量のウイルスが産生され、他人に感染させてしまう人は30人、ウイルスは増えるけれど他人に感染させるほどには増えない人が70人です。他人を感染させてしまうような人を早く見つけて隔離してしまえば、世の中は落ち着くわけです。問題となるのは上に挙げた症状が出ない15人です。そのうち5人は、他人に移せるほどたくさんのウイルスを産生していて、そこいらにこれを振りまいてしまうので厄介なのです。それは個人個人の体質によるもので、その人のせいとはいえません。マスクは自分も知らないうちに他人にウイルスを拡げないための、他人を利する用品なのです。

健診を受けるときはマスクを着け、終了したらしっかり石鹸で手洗いしましょう。嵐の日でも日照りの日でも草は根を伸ばし続けます。あなたの体に病気の根がはびこる前に、しっかり健診で見つけてゆきましょう。

